

利用成果報告書

1 課題番号 R5-013

2 報告者 川口 大輔 東京大学大学院工学系研究科

3 利用区分 成果公開有償利用

4 利用課題名 含フッ素生体高分子の合成および細胞内輸送

5 使用装置名 BIACORE 分子間相互作用解析装置

6 利用期間 令和 5年 6月 20日 ~ 令和 6年 3月 31日

7 利用成果・実績の概要 Biacoreを用いて脂質と含フッ素ペプチドおよびタンパク質とフッ素修飾金ナノ粒子との相互作用を測定した。

8 社会・経済への波及効果 含フッ素化合物と生体分子との相互作用を解明することで新しい生体材料開発につながると考えられる。

9 学会等における口頭・ポスター発表

発表した成果(発表題目、口頭・ポスター発表の別)	発表者氏名	発表した場所(学会等名)	発表した時期	国内・外の別
ペプチドの細胞取り込みにおけるフルオロアルキル基とアルキル基の違い	門田 晃司・木幡 愛・相川 光介・森本 淳平・山東 信介・岡添 隆	第46回フッ素化学討論会	2023/10/16-17	国内
種々のフッ素官能基を持つペプチドの細胞内取り込み:アルキル基とフルオロアルキル基の効果	門田 晃司・木幡 愛・相川 光介・森本 淳平・山東 信介・岡添 隆	第60回ペプチド討論会	2023/11/8-10	国内

10 学会誌・雑誌等における論文掲載 該当無し